

## 国語科学習指導案

日 時 平成26年11月18日(火) 5校時  
生徒 花巻市立湯口中学校 3年A組  
男子20名 女子8名 計28名  
授業者 阿部伸泰(花巻市立湯口中学校)  
共同研究者 小澤かおり(花巻市立南城小学校)  
岩 渕 陽 (花巻市立花巻中学校)

### 1 単元名 論理の展開に着目して読もう

教材 「新聞の社説を比較する」「論理の展開を工夫して書こう」(光村図書3年)  
「地球温暖化対策」に関する新聞社説

### 2 単元について

#### (1) 生徒観(生徒の実態)

生徒はこれまで、説明的な文章を教材として次のような学習をしてきている。

第1学年においては、「文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読む」言語活動を通して、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを読み分け、必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする学習をした。また、第2学年においては、「説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる」言語活動を通して、文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる学習をした。

しかし、平成25年度岩手県学習定着度状況調査の結果を見ると、「文章の展開を確かめながら要旨をとらえる。」こと、また「文章の構成や展開をとらえる。」についての定着が図られていないことが伺える。

そこで、本単元の学習を通して、文章の論理の展開の仕方をとらえる力、また書かれた内容について自分の意見をもつ力を付けたいと考える。

#### (2) 教材観

本単元で付けたい力は、「書き手の論理の展開について意図をとらえ、書かれた内容について、自分の意見をもつこと」である。このような力を付けるために、「論理の展開に着目して読もう」を単元を貫く課題解決的学習に設定する。

教材「論理の展開を工夫して書こう」は、新聞の社説を読む目的を生徒にもたせるために、単元の導入段階において取り上げる。

教材「新聞の社説を比較する」は、同じ「国語世論調査」について書かれた、異なる二つの社説を比較して読み、論理の展開の仕方について考える構成になっている。本単元では、「書き手の論理の展開について意図をとらえ、書かれた内容について自分の意見をもつ」力を習得させるために取り上げる。

教材「地球温暖化対策」に関する新聞社説は、教科書教材での学習を通して習得した力を活用して内容を的確にとらえ、その社説に対する自分の主張を明らかにする意見文を書く活動をする際に取り上げる。意見文とは、自分の考えを、なぜそう考えるのか、その根拠を明らかにして、筋道を立てて述べた文章である。意見文の構成は「序論・本論・結論」の三段構成とし、600字程度でまとめさせることとする。

### (3) 指導観

〈授業改善の視点に関わって〉

#### ① 論理の展開をとらえるための「比較する」読みの活用

本単元では、「読むこと」の指導事項イ「文章の論理の展開の仕方、場面の登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること」と、指導事項エ「文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと」を重点に指導していく。起こった出来事をとらえ、それについて書き手がどのように報道しているかを比較して読むことで、論の展開の仕方の違いや効果を読み取ることができる。そこで、論理の展開に着目させるために、主張を支える事実の選び方や取り上げ方、数など観点を決めて比較させ、共通点や相違点を書きながらとらえさせていく。また、比較する読みは、文章のテーマについて多面的に見られ、自分の考えが深まったり広がったりする。そこで、テーマに対する二つの異なった社説を読ませ、テーマについて思いを巡らせ、自分の考えを持たせていく。

#### ② 「読むこと」の学習指導の中に取り入れた書く活動の設定

社説を比べて読む際に、「書き手の表現意図を理解し、解釈しながら読むこと」を促すために、ワークシートを効果的に活用し、情報を書き留めながら読み進める活動を取り入れる。

また、単元のまとめにおいて、論理の展開を工夫して、意見文を書く活動を設定することで、自分の考えを深めさせる。

#### ③ 小・中学校の指導事項の系統をふまえた指導の工夫

「論理の展開の仕方」をおさえるために、段落の役割や段落相互の関係に着目する学習をしていく。その際に、小学校で学んだ「事実と意見」などの段落の関わりをおさえさせていく。

### 3 単元の目標と評価規準

	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
単元の目標	二つの社説を比較して読み、論理展開や表現の違いをとらえようとする。	書き手の論理の展開について意図をとらえ、書かれた内容について、自分の意見をもつことができる。	語感を磨き語彙を豊かにし、文章の読み取りや自分の表現に生かすことができる。
評価規準	二つの社説を比較して読み、論理の展開や表現の違いをとらえようとしている。	報道された情報を比較して、文章の論理の展開の仕方をとらえて、内容を的確に理解している。【イ】 報道された情報を比較し、述べられている内容について、立場を明らかにして自分の意見をもっている。【エ】	社説に盛り込まれた情報を読む際に、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意している。【伝イ(イ)】

#### 4 指導と評価の計画(全5時間)

時	主たる学習活動 ※授業改善の視点から	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	授業改善 の視点		
					①	②	③
1	○単元の見通しをもつ。 ○表現モデルとしての意見文(教科書)を読む。 ○社説(教科書)を読む。	・社説に関心を持ち、進んで読もうとしている。		・新聞の文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。	○		
2	○教科書教材「国語世論調査」に関する二つの社説を比較しながら読み、構成や展開、表現の仕方について、その違いや効果をとらえる。	・社説を比較して読み、論理の展開や表現の違いをとらえようとする。	・社説について、構成や展開、表現の仕方などの特徴や効果をとらえている。	・新聞の社説に盛り込まれた情報を読む際に、和語・漢語・外来語の使い分けに注意している。	○	○	○
3 本 時	○二つの社説の主張や根拠に対して、自分の意見をもつ。 ※論説文の論理の展開を、主張・根拠を明らかにして読み比べる。		・文章の論理の展開の仕方をとらえて内容を的確に理解し、自分の考えをもつ。		○	○	○
4	○同じテーマ(「地球温暖化対策」)で異なる主張の二つの社説を読み、書き手の主張と表現の工夫をとらえ自分の考えをもつ。		・社説を読み、内容を的確に理解し、自分の考えをもっている。		○	○	○
5	○自分の立場を明らかにして、論理の展開を工夫して、意見を主張する文章を書く。	・社説を読み、論理の展開を工夫しながら意見を主張する文章を書こうとしている。		・自分の考えを最も効果的に表現するために、和語・漢語・外来語を使い分けて書いている。		○	

## 5 本時の指導(3/5)

### (1)本時の目標

- ・文章の論理の展開の仕方をとらえて内容を的確に理解し、自分の考えをもつ。

### (2)本時の評価規準

評価規準 観点	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する生徒への 手立て
社説を比較し、述べられている内容について、立場を明らかにして自分の意見をもっている。 【読むエ】	Bに加えて複数の根拠をもとにして、考えをまとめている。  わたしはAの社説に共感する。 <u>ネットの普及により日本語に興味を持つ人が増えたこと</u> と、 <u>ネットがコミュニケーションに影響を与える</u> という指摘から、わたしもネットを活用しつつも悪影響を減らす努力が大切だと思うからである。	二つの社説のそれぞれの主張を支える根拠をもとにして、自分の考えをまとめている。  わたしはBの社説に共感する。「 <u>察し合い</u> 」が中心になっていくと言語は衰退していくという筆者の考えから、わたしも言葉を正しく使っていくべきだと思うからだ。	グループや全体の交流を通してそれぞれの主張を支える根拠を比べ、共感できる根拠を選ぶよう助言する。

### (3)展開

段階	学習活動及び学習内容	時間	留意事項, 評価規準 (関・読・言)
導入	1 前時の振り返り 2 本時の学習課題を確認する。 3 本時の学習活動を見通す。 学習の流れを確認する。	7	○二つの社説を読み、それぞれの構成や展開をとらえたことを確認する。  ○教師が説明する。 *黒板に紙板書を提示し、見通しを持たせる。
展開	4 課題解決 (1) 個人で読む。 社説の本論を読み、主張を支えている事実に対する筆者の意見を書き出す。 (2) 全体でそれぞれの社説の論理の展開	36	○ワークシートに記入させる。 ○様子を観察し、必要に応じて個別指導する。  ○教師がまとめる。

	<p>の仕方について確かめる。 (文章構成図を用いる)</p> <p>(3) 第一印象として社説Aと社説Bのどちらに共感できるか選択する(理由も挙げる)。</p> <p>(4) グループで交流する。 「自分が共感できる社説」について交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[手順]</p> <p>①自分の考えを話す。 ②質問や意見を話す。 ③グループの中で話題になったことをまとめる(班の考えとして一つにまとめるのではなく、あくまでも話題になったこと(例:「社説Bを選び、③④段落の内容に共感する人が多い。」等)</p> </div> <p>(5) 全体で交流する。 グループ交流の内容を紹介する。</p> <p>(6) 二つの社説の内容をもとに、自分の考えをまとめる。</p>	<p>○ワークシートに記入させる。</p> <p>○学習シートでグループ交流の進め方を確認する。教師の説明は3分程度とし、簡潔に行う。</p> <p>○役割の確認 4人で司会、記録、計時、発表係を分担する。</p> <p>○教師の合図でグループ交流を始める。</p> <p>○各グループの様子を観察し、必要に応じてグループ指導をする。</p> <p>○グループの代表に発表させる。</p> <p>○ワークシートに記入させる。 ○条件に沿ってまとめさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>読</b> 文章の論理の展開の仕方をとらえて内容を的確に理解している。 (ワークシート、観察)</p> </div>
<p>終末</p>	<p>6 今日の学習の振り返り (1) 個人でまとめる。 (今日学んだこと、等) (2) 全体で交流する。 (教師が指名する)</p> <p>7 次時の予告をする。 同じテーマで異なる主張の二つの社説(教科書以外)を読み、書き手の主張と表現の工夫をとらえ自分の考えをもつことを確認する。</p>	<p>7 ○学習評価シートに記入させる。</p>